

環境保全中長期目標と実績

異常気象など気候変動に起因する影響が顕在化する中、世界の温室効果ガス削減の動きは活発化しています。地球規模の環境問題は「食料確保」や「安心安全な水の確保」にも大きな脅威を与えます。

クボタグループは、環境経営を推進しサステナブル企業としてSDGsやパリ協定などの様々な社会動向をふまえ、環境保全に関する中長期目標を策定して活動を推進しています。2016年に「環境保全長期目標2030」および「環境保全中期目標2020」を策定し、これらの目標達成に向けて生産および製品開発段階において計画的に取り組みを進めています。また、クボタグループの目標項目とSDGsのゴールやターゲットを照らし合わせ、課題解決に貢献できる領域を特定しています。

環境保全長期目標2030

クボタグループは、「環境保全長期目標2030」の達成に向けて、実効性の高い活動を展開するためのアプローチとして、5年ごとに「環境保全中期目標」を策定しています。



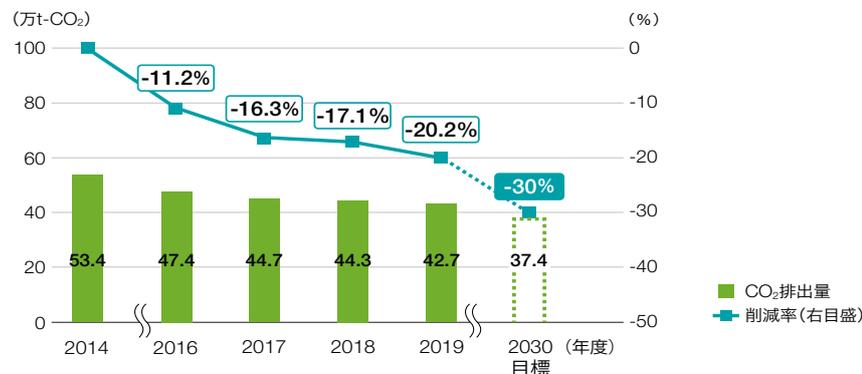
■ 気候変動への対応



目標	2030年に、国内クボタグループのCO ₂ 排出量※を2014年度比で 30%削減 します
実績	2019年度は、国内クボタグループのCO ₂ 排出量※を2014年度比で 20.2%削減 しました

※ CO₂排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。

国内クボタグループCO₂排出量の推移

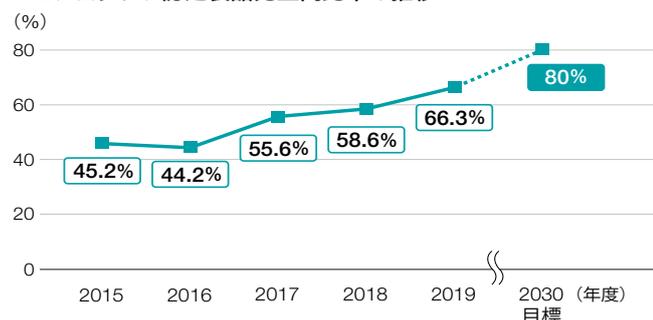


■ 環境配慮性の高い製品の開発



目標	エコプロダクツ認定製品売上高比率※を2030年に 80%以上 にします 2030年以降に上市する新製品はすべてエコプロダクツ認定製品をめざします
実績	2019年度のエコプロダクツ認定製品売上高比率※は、 66.3% でした

エコプロダクツ認定製品売上高比率の推移



※ エコプロダクツ社内認定制度で基準をクリアした製品の売上高比率
 エコプロダクツ認定製品売上高比率(%) = エコプロダクツの売上高 ÷ 製品の売上高 (工事、サービス、ソフト、部品・付属品を除く) × 100

各指標の算定方法は「環境パフォーマンス指標算定基準 (P86)」を参照してください。

環境保全中期目標2020

2016年度より「環境保全中期目標2020」に向けて取り組みを進めています。拠点および事業部ごとに対策を立案し、事業量や事業内容の変化による影響を考慮した上で、実施計画を策定し、実行しています。2019年度の実績は下表のとおりです。グローバル生産拠点については、昨年に引き続き全項目において2020年度目標を前倒しで達成し、継続して原単位改善に向けた取り組みを推進しています。製品分野では新たにスーパーエコプロダクツ3件を含む64件をエコプロダクツとして認定し、売上高比率は前年比7.7ポイント増の66.3%となりました。

■ グローバル生産拠点の目標

SDGs	課題	取り組み項目	管理指標 ^{※3}	基準年度	2020年度目標 ^{※5}	2019年度実績 ^{※5}	進捗状況
	気候変動への対応	CO ₂ 削減 ^{※1}	CO ₂ 排出原単位	2014	▲14%	▲17.1%	生産設備や照明・空調の省エネや燃料転換、再生可能エネルギーの導入、建築物の断熱対策等を推進しています。
		省エネルギー	エネルギー使用原単位	2014	▲10%	▲14.3%	
	循環型社会の形成	廃棄物削減	廃棄物排出原単位	2014	▲10%	▲21.4%	分別管理の徹底や有価物化を推進しています。
			再資源化率 ^{※4} (国内)	-	99.5%以上を維持	99.7%	継続的な活動により従来のレベルを維持しています。
			再資源化率 ^{※4} (海外)	-	90.0%以上を維持	91.8%	委託先の変更により、埋立処分量の削減を推進しています。
	水資源の保全	水資源節約	水使用原単位	2014	▲10%	▲19.5%	排水の再生利用、節水活動を推進しています。
	化学物質の管理	VOC削減 ^{※2}	VOC排出原単位	2014	▲10%	▲38.1%	VOCを含む塗料・シンナー類の廃止や削減を推進しています。

■ 製品分野の目標

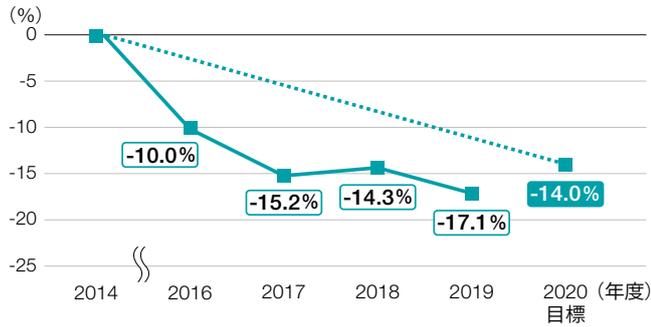
SDGs	課題	取り組み項目	管理指標	2020年度目標	2019年度実績	進捗状況
	製品の環境性能向上	エコプロダクツの拡充	エコプロダクツ認定製品売上高比率 ^{※6}	60%以上	66.3%	2019年度は新たに64件を「エコプロダクツ」に認定しました。
		リサイクルの推進	リサイクル素材使用率 ^{※7}	70%以上を継続	70%以上	目標を超えるリサイクル素材使用率を維持しています。
		排出ガス規制対応	最新の排出ガス規制に対応した産業用ディーゼルエンジンの開発と搭載製品の市場投入	排出ガス規制に対応したエンジンを搭載した以下の製品 ^{※9} を市場投入しました。 トラクタ MRシリーズ MR1007 韓国農機4次規制 (56kW以上130kW未満) 適合 コンバイン アグリロボコンバイン DR6130A 国内特自規制 (56kW以上130kW未満 平成26年規制) 適合		

※1 CO₂排出量には非エネルギー起源の温室効果ガスを含みます。エネルギー起源CO₂の算定において、電力の排出係数は基準年度の値を使用します。
 ※2 VOC (揮発性有機化合物)は、クボタグループでの排出量に占める割合が大きい、キシレン、トルエン、エチルベンゼン、スチレン、1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼンの6物質を対象としています。
 ※3 原単位は生産高当たりの環境負荷量です。海外拠点の生産高を円換算する際の為替レートは、基準年度の値を使用します。
 ※4 再資源化率(%)=(有価物売却量+社外再資源化量)÷(有価物売却量+社外再資源化量+埋立量)×100 社外再資源化量には熱回収量を含みます。
 ※5 ▲は「マイナス」を意味します。
 ※6 エコプロダクツ社内認定制度で基準をクリアした製品の売上高比率
 エコプロダクツ認定製品売上高比率(%)=エコプロダクツの売上高÷製品の売上高(工事、サービス、ソフト、部品・付属品を除く)×100
 ※7 クボタグループで製造する鋳物製品・部品(ダクタイル鉄管、異形管、機械鋳物(エンジンのクランクケース等))でのリサイクル素材使用率(%)です。
 ※8 欧州排出ガス規制(欧州 Stage IVおよびV)相当に対応したエンジンを搭載した欧州・北米・日本・韓国向けトラクタ、コンバイン(出力帯:56kW≦P<560kW)を対象とします。
 ※9 2019年度に市場投入した製品のうち、主な製品を記載しています。

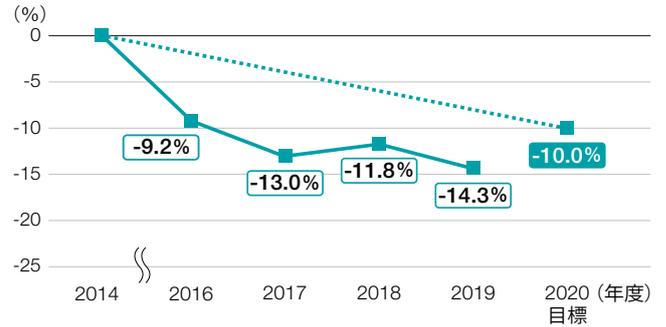
「KUBOTA REPORT 2020 <フルレポート版>」に記載の環境情報は、KPMGあずさサステナビリティ株式会社の第三者保証を受けており、保証の対象となる指標には「Q」マークを付しています。

■ 環境保全中期目標2020に対する実績の推移

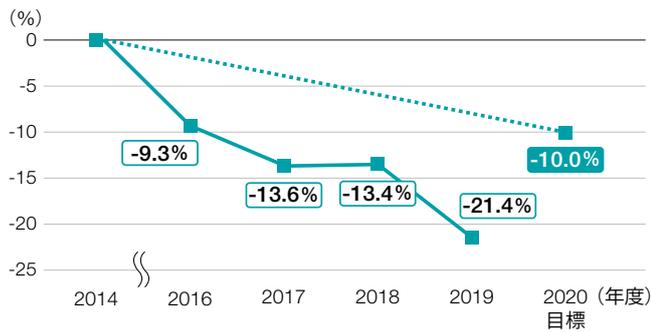
CO₂排出原単位削減率の推移



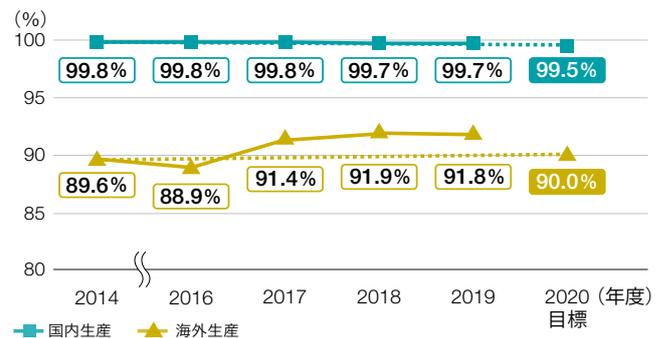
エネルギー使用原単位削減率の推移



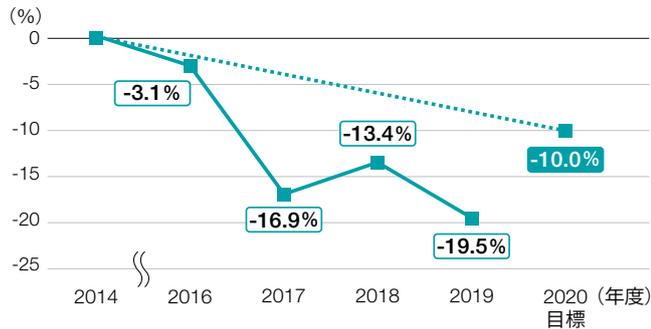
廃棄物排出原単位削減率の推移



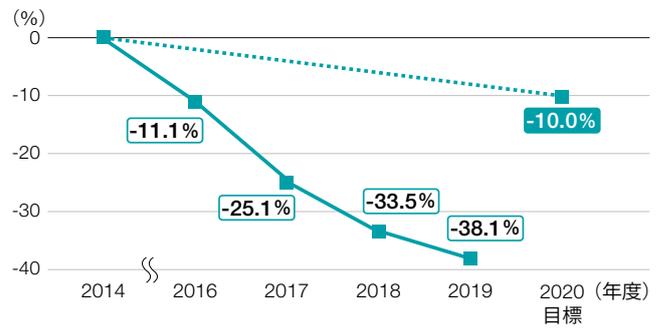
廃棄物再資源化率の推移



水使用原単位削減率の推移



VOC排出原単位削減率の推移



■ 最新の排出ガス規制対応エンジン搭載製品 (2019年度に市場投入した主な製品)



トラクタ MRシリーズ MR1007(韓国)



コンバイン ファームパイロット(Farm Pilot)シリーズ アグリロボコンバイン DR6130A

エコ・ファースト企業として

クボタグループは2010年5月に、環境保全への取り組みを約束し、環境大臣より「エコ・ファースト企業」に認定されました。また、環境保全中長期目標に基づき、「エコ・ファーストの約束」を更新し、2017年10月に「エコ・ファースト企業」に再認定されました。

「エコ・ファースト企業」認定の詳細についてはこちらから
www.kubota.co.jp/kubota-ep/main/ecofirst.html



エコ・ファースト・マーク